

令和7年度第1回埼玉県総合医局機構（地域医療対策協議会）運営協議会 結果

- 1 日 時：令和7年5月13日（火）18：50～19：55
- 2 会 場：埼玉県地域医療教育センター（Teams との併用）
- 3 出席者：センター長、委員9名
- 4 内 容：
 - ・ 総合医局機構（地域医療対策協議会）における令和6年度活動状況及び令和7年度検討予定事項について
 - ・ 総合医局機構（地域医療対策協議会）の運営体制について
 - ・ 令和8年度に開始する臨床研修の募集定員枠について

事務局から上記の議事及び報告事項について説明し、案のとおり承認された。

【配布資料】

令和7年度第1回埼玉県総合医局機構（地域医療対策協議会）運営協議会について

医師確保・派遣委員会／医師派遣・キャリア形成検討部会

(1) 開催日

委員会: 令和6年 5月28日(ウェブ) 令和7年 3月27日(ウェブ)
部 会: 令和7年 1月23日(ウェブ)

(2) 議 題

- ① 埼玉県医師育成奨学金貸与条例の一部改正について
・貸与した奨学金に年10%の貸付金利を設定する旨の条例改正案について説明した。
- ② 令和7年度医師派遣方針について
・医師育成奨学金貸与医師、研修資金貸与医師、自治医科大学卒業医師、寄附講座、医師派遣事業で令和7年度に派遣となる医師の決定を行った。
- ③ 令和8年度に開始する臨床研修の募集定員枠について
・厚生労働省が示す本県の上限枠(516名)の範囲内で、各臨床研修病院の希望定員枠(516名)を調整し、決定した。

医師キャリア形成支援委員会／医師派遣・キャリア形成検討部会

(1) 開催日

委員会: 令和6年 8月26日(ウェブ) 令和7年 2月 4日(ウェブ)

部 会: 令和6年11月14日(書面) 令和7年 1月23日(ウェブ)

(2) 議 題

- ① 令和7年度専門研修プログラムに対する国への意見について
 - ・令和6年9月、令和7年度専門研修プログラムについて、専攻医が都市部に集中しないよう効果的な対応策を検討すること等を要望した。
- ② 令和6年度個別のキャリア形成プログラムの策定について
 - ・対象は県外医学生奨学金、地域枠奨学金の貸与を受けた医師28名(臨床研修1年目)
 - ・キャリアコーディネーターが面談を行った。
 - ・対象者のうち、27名が県内、1名が県外(返還猶予)で臨床研修中。
希望する診療科は小児科11名、産婦人科5名、救急科3名、内科4名、外科5名等(重複あり)であった。
 - ・委員会で素案について決定し、個別のキャリア形成プログラムを策定した。
- ③ 令和7年度版埼玉県キャリア形成プログラム(基本版)の策定について
 - ・令和7年度版の全体のキャリア形成プログラムの策定を実施した。
- ④ 埼玉県医師育成奨学金制度の見直しについて
 - ・制度の課題等について意見を集めた。

地域医療教育センター委員会／運営企画部会

(1) 開催日

委員会：令和6年11月12日(対面・Zoom併用)

部会：令和6年10月23日(対面・Zoom併用)

(2) 議題

- ① 地域医療教育センターの利用状況・自主企画研修実施状況について
 - ・地域医療教育センターの令和5年度の利用状況(計227件、計5,423名)と令和6年度(令和6年9月末時点)の利用状況(計111件、計2,769名)について報告した。
 - ・地域医療教育センター自主企画研修会の開催状況について、令和5年度の実施状況(計26回、計1,515名、うち再配信視聴者数440名)と令和6年度(令和6年9月末時点)の実施状況(計8回、計232名)、10月以降の開催予定(計15回予定、468名見込)を報告した。
- ② 令和7年度自主企画研修案について
 - ・令和7年度は当初案として計25件実施する計画を提示し、了承された。
- ③ 地域医療教育センターの機器について
 - ・センターで保有する機器の利用状況について報告した。
 - ・その他、今後更新等の対応が必要と想定される機器について報告した。

看護職員確保委員会

(1) 開催日

第1回 令和6年11月15日(対面・zoom併用)

第2回 令和7年 2月 5日(対面・zoom併用)

(2) 議題

○ 本県における看護職員の養成・確保について

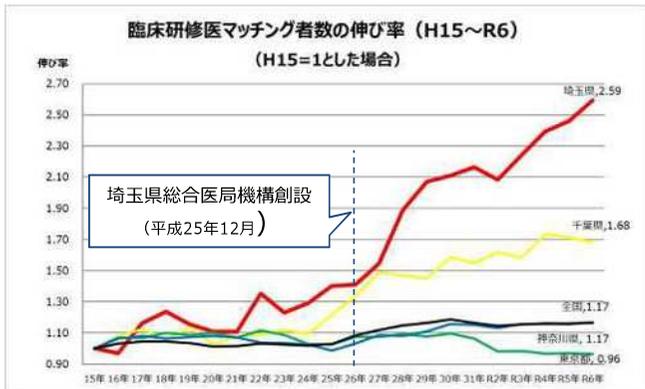
- ・第1回委員会では、看護職員に係るデータや県が実施している看護職員の養成・確保策を示し、高齢化等により看護需要が高まっている現状を踏まえ、新たな施策を検討するための考え方等について議論を行った。その中で、看護現場で発生している課題や要望、既存事業の見直しに向けた着眼点などについて委員から意見をいただいた。
- ・第2回委員会では、第1回委員会で得られた意見を基に、今後の取組の方向性や実施事業例を示し、実現性や予想される効果といった点などについて委員から意見をいただいた。
- ・委員からの意見を基に、今後、県が医療機関や養成所に対して実施予定の調査も参考にしながら、引き続き、事業化に向けての具体的な看護職員の養成・確保策について議論、検討していくこととなった。

臨床研修医

令和6年(令和7年度開始)
臨床研修医マッチング者数
428人 (全国6位)

- ▶増加数(H15→R6) **263人** (全国1位)
- ▶伸び率(H15→R6) **2.59倍** (全国1位)

●特に総合医局機構創設以降の伸びが好調



医師数

令和4年12月31日現在
13,224人 (全国7位)

- ▶増加数(R2→R4) **167人** (全国7位)
- この10年間 **2,536人** (全国5位)
- ▶増加率(R2→R4) **1.3%** (全国23位)
- この10年間 **23.7%** (全国1位)

キャリアステージに応じた医師の確保・支援

中高生

- ▶ **中高生の志養成**
・医療機関での模擬医療体験 (R6:67人)

医学生

- ▶ **医学生向け奨学金制度**
・県外医学生 75人、地域枠医学生210人に貸与
・令和6年度は161人が義務従事中、2030年には400人規模へ
・説明会・面談実施 (5年生25人、6年生27人)

研修医

- ▶ **県内臨床研修病院への誘導**
・臨床研修病院オンライン説明会 (R6:17病院出展) ※1/18(土)開催
- ▶ **研修病院セミナーの実施**
・臨床研修医や医学生を対象とした専門研修基幹病院の説明と交流会の開催 (R6:140人)
- ▶ **研修資金制度(産科・小児科・救命救急センターへの誘導・確保)**
・臨床研修医3人、専攻医29人に貸与
- ▶ **キャリア形成支援**
・個々の奨学生に対応したキャリア形成支援プログラムの作成 (R6:28人)
- ▶ **専攻医の県内誘導**
・本県で専門研修を受講する魅力を県内外にPRする特設サイトを運営

専門医

- ▶ **地域医療教育センターの運営**
- | 利用実績 (令和6年度) | 利用件数 | 利用者数 |
|--------------|------|--------|
| | 245件 | 6,109人 |
- ・学会認定研修や手技向上のための研修 (R6:23回、709人)

指導医

- ▶ **医師バンク・女性医師支援**
・医局機構ホームページ(コバトドットメド)にて求人情報(医師バンク)を常設
・女性医師支援センター(女性医師の復職支援・相談対応)
- ▶ **医師派遣・自治医大卒業医師派遣・寄附講座**
・小児二次救急医療体制の充実のため地域の拠点病院への医師派遣
・医師確保が困難な地域への自治医大卒業医師派遣 (R6:18人)
・県の政策医療を担う病院へ寄附講座による県外大学病院からの医師派遣

医師確保対策の推進

【予算額】1,582,959千円

一部新規

目的

医師の不足及び医師の偏在を解消するため、医師派遣の支援や医学生への奨学金貸与等により医師の確保を図るとともに、若手医師の県内医療機関への誘導・定着を促進する。

事業概要

1 医師を確保する取組 1,582,959千円

(1) 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備 **【新規】** 525,000千円

医師が健康に働き続けることのできる環境を整備することで、医療の質や安全を確保すると同時に、地域医療提供体制を維持する。

新規・拡充内容

- 長時間労働医療機関への医師派遣支援 **【新規】**
長時間労働医療機関へ医師派遣を行う医療機関に対して補助を実施



(2) 医師の確保に取り組む医療機関への支援 **【拡充】** 162,366千円

医師不足により診療体制を維持することが困難な医療機関を支援する。

新規・拡充内容

- 寄附講座運営支援事業の拡充 **【拡充】**
地域の医療機関へ指導医等を配置し、地域医療に関する調査研究や人材育成支援をする大学に対して補助
(補助対象数を6人から11人に増加)



(3) 医学生・研修医の誘導・定着促進 792,014千円

医学生向け奨学金や研修医向け研修資金を貸与することにより、医師不足の診療科や地域への医師の誘導・定着を促進する。

地域枠奨学金貸与 6年間
↓
指定医療機関で勤務 9年間



(4) 埼玉県総合医局機構による医師確保対策の推進 103,579千円

臨床研修医の県内医療機関への誘導、地域医療教育センターの運営など、埼玉県総合医局機構において一元的・総合的な医師確保対策を実施する。

地域医療教育センターでの研修



※ 各委員会年2回程度開催予定

医師確保・派遣委員会／医師派遣・キャリア形成検討部会

① 臨床研修医の募集定員の調整について

厚生労働省から配分される定員の範囲内で、地域医療対策協議会の意見を聴きながら県内臨床研修病院の定員調整を行う。(令和9年度臨床研修開始分)

- ・ 各臨床研修病院には予め希望する定員を照会し、定員調整を実施。
- ・ 意見聴取後は厚生労働省に報告し、各臨床研修病院に結果を通知する。

② 特定労務管理対象機関の指定について

医師の時間外労働の上限規制に当たり、医療機関から申請があった際には、指定について意見を伺う。

※ 各委員会年2回程度開催予定

医師キャリア形成支援委員会／医師派遣・キャリア形成検討部会

① キャリア形成プログラムについて

ア 個別の奨学金貸与者向けキャリア形成プログラムについて検討する。

- ・ 令和7年3月医学部卒業生27名の個別のプログラムを作成予定。

イ 奨学金貸与者向けキャリア形成プログラム(基本版)の修正について検討する。

② 専門医制度について

国から専門研修に関して協議があった場合に、都道府県は、地域医療対策協議会に専門医制度による地域の医療提供体制の確保に与える影響について確認した上で、国に意見を述べる。

③ 埼玉県医師育成奨学金制度の見直しについて

制度の課題等を踏まえた見直しの検討を進める。

※ 各委員会年2回程度開催予定

地域医療教育センター委員会／運営企画部会

① 運用状況及び今後の利用促進について

現在の状況報告及び今後の利用促進について検討する。

② 自主企画研修について

令和8年度において実施する自主企画研修の方針等について議論、検討する。

看護職員確保委員会

① 本県における看護職員の養成・確保について

令和6年度における検討を踏まえ、引き続き、今後の看護職員の養成・確保について、議論、検討する。